backlog by nulab

建設業

工程表と工事台帳を見直す
経営判断ガイド



会議前のエクセル確認、台帳転記、
協力会社への聞き直しを減らすための
Backlog活用

工程表のエクセル・紙管理がもたらす課題

課題 01

属人化による更新停止と誤判断リスク

長年使われてきた工程表は、関数・参照・マクロが複雑化。作成者不在の場合、古い工程表で判断してしまうリスクがある。

課題 02

情報の分断による意思決定の遅れ

現場、本社、協力会社で台帳や関連資料の保管場所が分かれており、最新の情報に基づいた意思決定ができない。

課題 03

無駄な転記作業による見えないコスト

工程表、台帳、メールから未完了事項を拾い、会議資料へ写す作業が発生。本来注力すべき判断業務が後ろ倒しに。

工程表・台帳の管理方法に関する実態調査

【工程表・工事台帳の作成・管理の手段】
エクセル・スプレッドシート／手書き・紙 **50%**

（n=36）

エクセルや紙でのアナログな管理が、確認や転記の工数を見えにくくしています

【アンケート調査】「仕事に関するアンケート」（調査実施：2026年8月7日～10日）本項の調査データは、「会社経営者・役員、正社員」の全体n=400の内、勤務先業種を「建設業」かつ、工程表・工事台帳の作成に関わると回答した人（n=36）が対象

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

エクセル運用における問題の根本原因は、管理構造にある

工程表や工事台帳の確認負荷は、エクセル作業の多さだけで生じるわけではありません。
進捗・担当・期限・資料・変更理由が、ファイルやメールに分かれて残ることが根本原因です。

原因 01

属人化による現場のブラックボックス化

長年使われてきた特定のエクセルに依存しているため、担当者以外は最新状況がわからない「属人化」が生まれ、組織としての進捗管理を機能不全にしている。

原因 02

情報の分断による重大な認識のズレと手戻り

現場・本社・協力会社で情報の保管場所や伝達経路が分断されていると、同じ工事でも前提条件にズレが生じ、後工程での致命的なミスや手戻りコストを引き起こす。

原因 03

リアルタイムな経営判断の遅れ

日々の判断材料が共通データとして蓄積されていないため、報告のための「資料作り」に膨大な無駄が生じ、トラブル時の迅速な状況把握と意思決定を遅らせている。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

改善の第一歩、現場の「ブラックボックス化」を防ぐ情報管理

改善の出発点は、個人のローカルルールで作られたエクセルから脱却することです。
誰でも同じ前提で現場の最新状況を把握できる、組織としての共通基盤を持つことが不可欠です。

改善策 01

案件単位で一次情報を持つ

工事ごとの工程変更や是正対応などを一箇所に集約し、「情報の散逸」による見落としや確認漏れを防ぐ。

改善策 02

担当・期限・状態をそろえる

「誰が」「いつまでに」「どうなっているか」を可視化し、責任の所在を明確にして工期遅延リスクを未然に防ぐ。

改善策 03

判断と資料を紐づける

変更理由や確認コメントを図面と共に残し、トラブル時のエビデンスとして組織的に蓄積する。

現場のリスクを可視化し、確実なプロジェクト運営を実現する仕組みが必要です

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

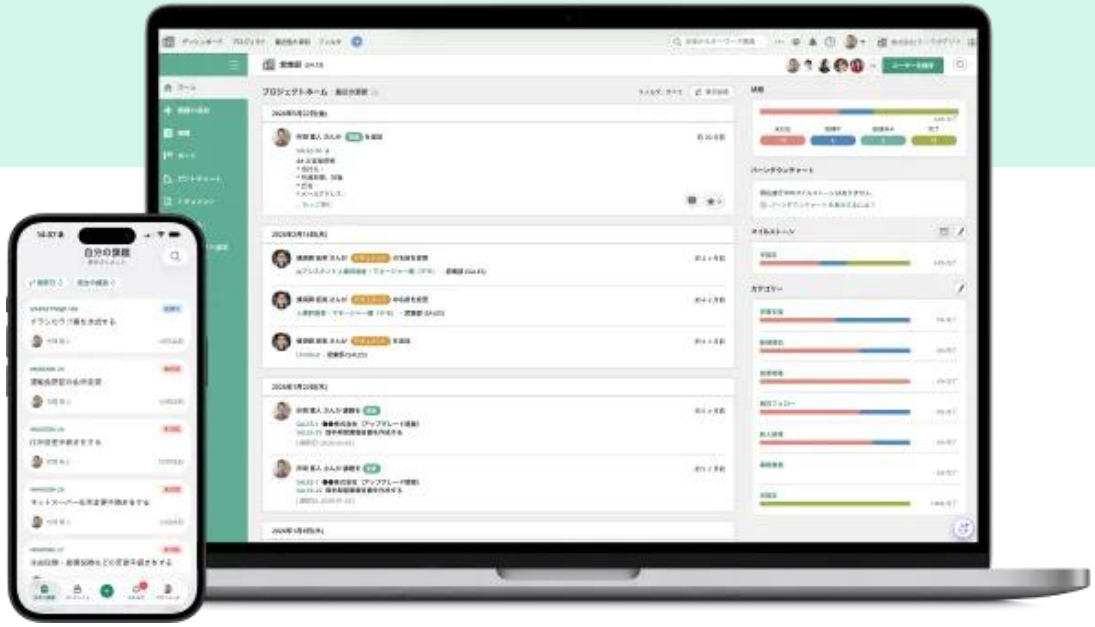
現場の進捗を1か所で管理するプラットフォーム「Backlog」とは

Backlogは、工程変更・台帳更新・是正対応など、工事に関わる作業を「課題」として一元管理し、担当者、状態、やり取り、関連資料をまとめて把握できるプロジェクト・タスク管理ツールです。

建設現場・協力会社

業務場面

- 工程変更の確認
- 工事台帳の更新
- 是正対応の記録
- 協力会社への依頼



backlog by nulab

経営層・管理部門

できること

- 可視化
- データ共有
- 進捗管理
- 報告整理

作業内容、担当者、状態、コメント、関連資料をまとめて管理

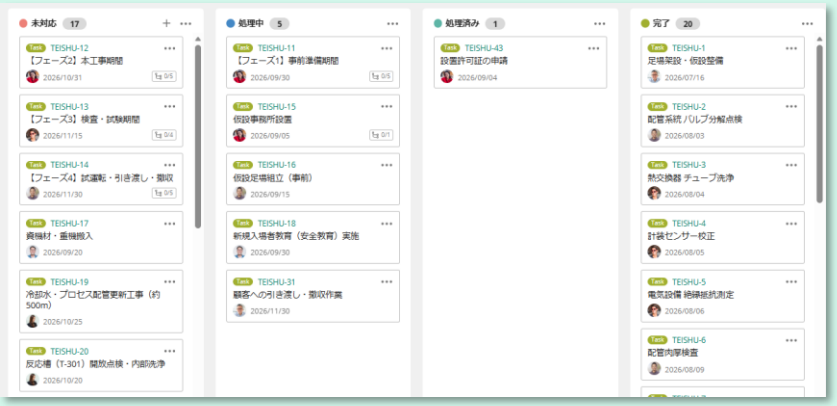
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること１：タスク・ステータス管理

工程ごとの業務をはじめ、是正事項を「課題（チケット）」として登録・管理。
全員が同じ画面で担当者・期限・状態を一覧で確認できる状態にします。







親子課題・孫課題*

タスクの作成・割り当て・追跡を効率化

- 案件を子課題・孫課題に分割して管理
- 親課題で案件全体の進捗をひと目で把握
- 課題ごとに担当者・期限・優先度を設定

*一部プランのみ使用できます。詳細は料金ページをご確認ください。

ガントチャート

プロジェクトのスケジュールを視覚的に管理

- タスクの工程とスケジュールを可視化
- ドラッグ＆ドロップで簡単にスケジュール調整
- マイルストーンの設定と進捗管理

ボード

直感的なタスク管理とワークフロー

- ドラッグ＆ドロップで簡単に状態変更
- 作業の進捗状況をビジュアル化
- ワークフローの効率化と可視化

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること２：コメント・ファイル共有

設計や是正対応など業務を進める際に発生する議論や判断理由を、コメント欄に直接記録。
タスクと紐づいて蓄積されるため、メールやチャットを遡ることなく、やり取りの経緯をたどることができます。



コメント

タスクに紐づけてコメントを残せる

- 経緯や判断理由をやり取りごと残せる
- 関連ファイルの添付も可能



ファイル

プロジェクトごとにファイル格納

- PDF、画像、エクセル／ワードファイル等を格納可能
- 格納場所を一元化することで情報の散在を防止

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること3：ドキュメント・AIアシスタント

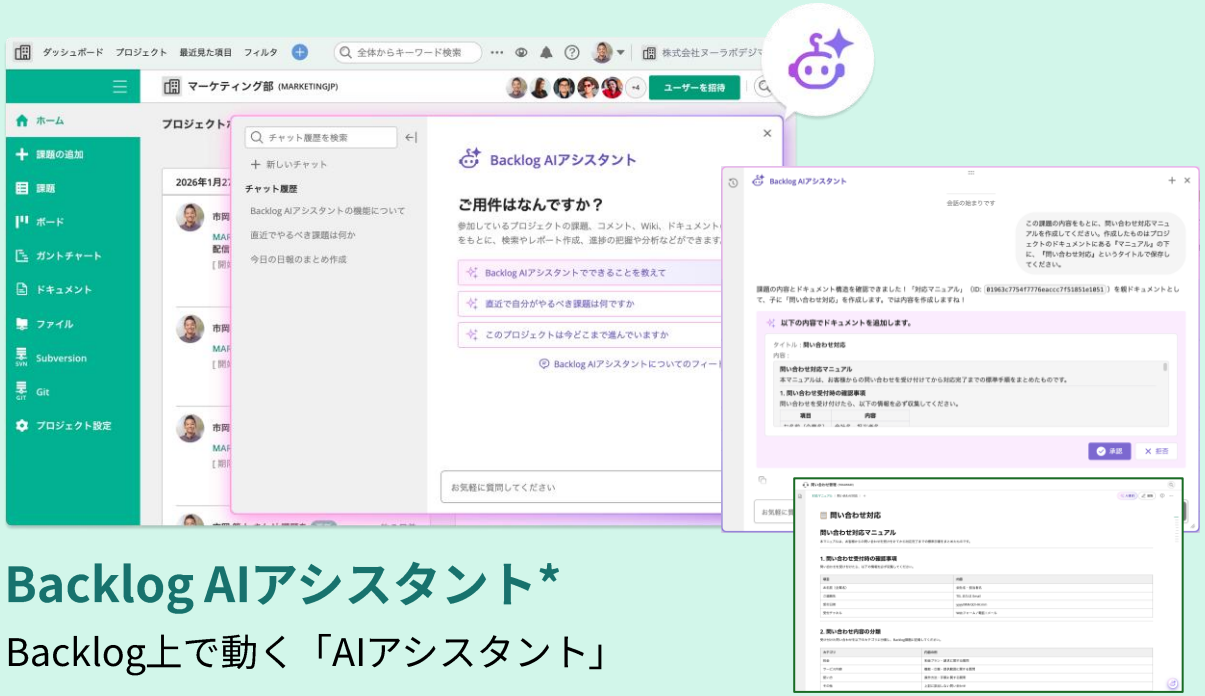
繰り返し聞かれる判断基準や対応マニュアルをドキュメントにストック。
案件の関係者全員が参照可能な「情報資産」に育ちます。



ドキュメント

チーム内での情報共有とナレッジベース構築

- プロジェクト内の知識を一元管理
- マークダウン記法でドキュメント作成
- 複数人での共同編集と履歴管理



Backlog AIアシスタント*

Backlog上で動く「AIアシスタント」

- 自社の業務の背景や文脈を踏まえてAI回答
- 専用のAIを構築せずに使える
- 進捗管理やレポート作成、人事評価などにも役立つ

*一部プランのみ使用できます。詳細は料金ページをご確認ください。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

現場の「暗黙知」を会社の資産に変えるナレッジ管理

変更結果だけでなく、判断のプロセスを共有する

工程変更の内容だけでなく、その判断理由や現場リスクへの配慮といった「背景」までコメントとして記録し、組織全体で共有する。

判断の理由や経緯が履歴として残っているため、個人の経験やノウハウが「会社の資産」として蓄積され、担当者交代時の確認コストを抑えるとともに、切れ目のない引き継ぎを行える。

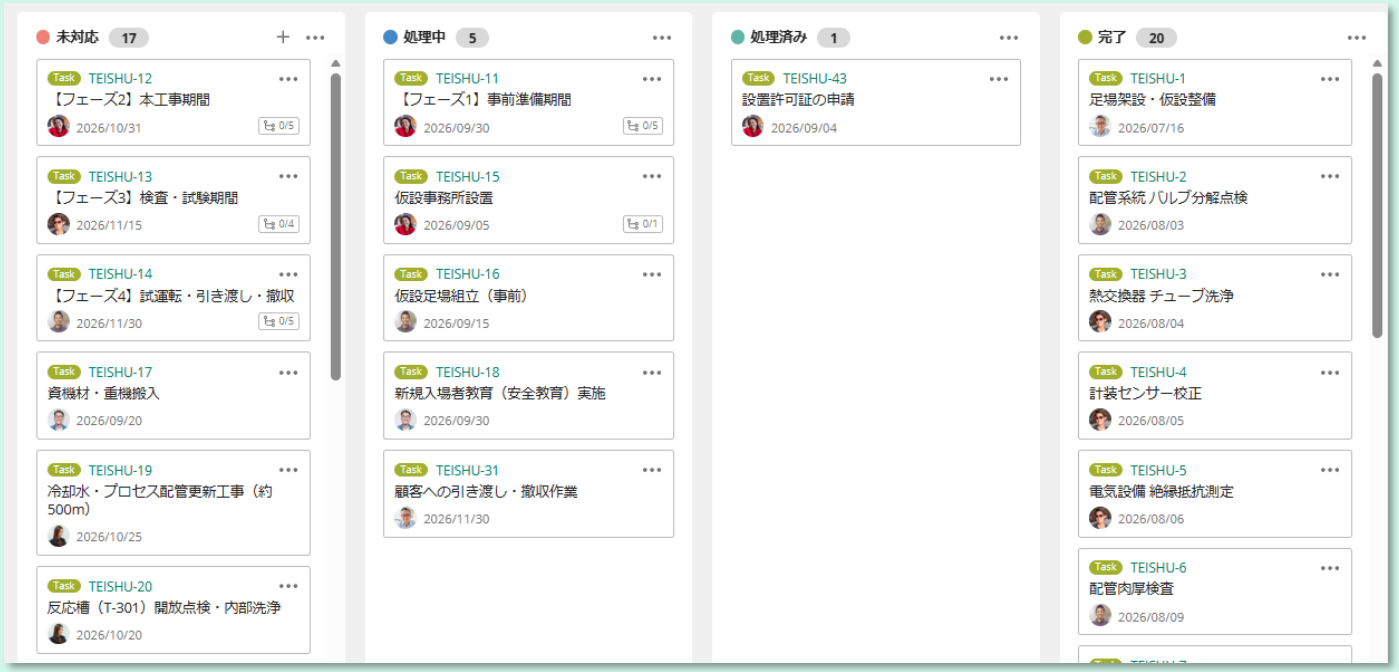


©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

品質リスクの可視化と重大事故の未然防止

是正指摘の「対応漏れ」による重大リスクを未然に防ぐ

指摘から完了確認までのプロセスを可視化し、「誰が・いつ・どう対応したか」の責任の所在を明確化する。



未対応や確認待ちのタスクが可視化されるため、「指摘事項の放置」による品質事故や、後工程での甚大な手戻りコストを抑制。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

協力会社との「言った・言わない」をなくす情報共有体制

社外との連携状況を可視化し、コミュニケーションロスを防ぐ

社外への依頼内容、最新の図面データ、交渉経緯をすべて案件に紐づけ、やり取りを「個人の連絡」から「組織の記録」へ。

担当者の電話や個人のメールに依存した連絡を防ぐことで、「言った・言わない」の認識のズレによる手戻りや、それに伴う重大な工期遅延を回避できる。



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

導入事例

脱エクセルで現場の「探す時間」を削減し、本来の業務に集中する

実際の導入事例を基にした、Backlogの活用例を紹介します。

導入前の課題

エクセルの工程表では、会議前に最新の情報を探すのに時間がかかっており、図面、施工写真、関連資料の保管場所が分散していて見つけにくかった。

Backlogの使い方

Backlogを利用し、工程変更や台帳更新を課題として登録して共有し、図面などの資料を課題と紐づけて整理。

導入後の変化・効果

会議の準備が速やかに終わり、本来の判断業務に集中できるようになった。工事の関連資料もまとめて確認できるように。



※課題登録のイメージ

Backlog導入事例はこちらからご覧いただけます

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

導入を支える費用設計とセキュリティ体制

全社規模での展開や中長期的な運用を見据え、
コストの見通しとガバナンスを両立するための導入基盤を提供します。

01

アカウント数に縛られない「定額料金プラン」

ユーザー数に応じた従量課金ではなく、スペース単位の定額制を採用。現場人数の増加や、協力会社の参加があっても、追加コストを気にせず展開可能です。

※プランによっては人数制限があります

02

強固なセキュリティ・ガバナンス

ヌーラボは ISO 27001 / 27017 / 27018　を取得。インフラにはAWSを採用し、通信の全面暗号化（TLS）や24時間365日の監視体制で、図面・施工写真・契約情報などを保護します。

03

基幹システムを補完する「判断の記録」

基幹システムでは残せない「なぜその判断をしたか」「トラブルにどう対処したか」という業務の文脈をBacklogに蓄積。現場の二重入力を防ぎつつ、組織の判断品質を高める基盤となります。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

お気軽にお問い合わせください

無料トライアルで試す
まずは使ってみる



30日間無料で試す

オンラインセミナーで学ぶ
まずは話を聞きたい



オンラインセミナー

個別相談会で相談する
相談しながら決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.